

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	2011年3月1日～2021年2月17日	
運用方針	HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・マザーファンド受益証券への投資を通じて、先進国通貨債権および新興国通貨債権に投資することにより、安定したインカムゲインの確保とともに、信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要運用対象	HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・オープン(毎月決算型)	HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・マザーファンド	今後の世界経済の成長のけん引役になることが期待される国(ニューリーダー)の債券を中心に投資します。
組入制限	HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・オープン(毎月決算型)	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・マザーファンド	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への投資は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への投資には制限を設けません。
分配方針	年12回の決算時(毎月17日、休業日の場合は翌営業日)に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。 ①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・オープン(毎月決算型)

運用報告書(全体版)

第103期	(決算日)	2019年9月17日)
第104期	(決算日)	2019年10月17日)
第105期	(決算日)	2019年11月18日)
第106期	(決算日)	2019年12月17日)
第107期	(決算日)	2020年1月17日)
第108期	(決算日)	2020年2月17日)

◎受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・オープン(毎月決算型)」は、2020年2月17日に第108期の決算を行いましたので、第103期～第108期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

HSBC 投信株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング
 <<お問い合わせ先(クライアントサービス本部)>>
 電話番号: 03-3548-5690
 (営業日の午前9時～午後5時)
 ホームページ: www.assetmanagement.hsbc.co.jp



◎最近5作成期の運用実績

作成期	決 算 期	基 準 価 額 (分 配 額)	期 騰 落 率		債 券 組 入 率 比	債 券 先 物 率 比	純 資 産 額
			税 込 分 配	み 金			
第14作成期	第79期 (2017年 9月19日)	円 7,271	円 40	% 2.3	% 93.7	% —	百万円 18,253
	第80期 (2017年10月17日)	7,154	25	△1.3	94.0	—	17,276
	第81期 (2017年11月17日)	7,048	25	△1.1	92.6	—	14,989
	第82期 (2017年12月18日)	7,071	25	0.7	92.2	—	14,241
	第83期 (2018年 1月17日)	7,110	25	0.9	92.7	—	13,863
	第84期 (2018年 2月19日)	6,806	25	△3.9	94.4	—	12,708
第15作成期	第85期 (2018年 3月19日)	6,651	25	△1.9	94.5	—	11,977
	第86期 (2018年 4月17日)	6,784	25	2.4	94.2	—	11,889
	第87期 (2018年 5月17日)	6,593	25	△2.4	93.3	—	11,221
	第88期 (2018年 6月18日)	6,452	25	△1.8	93.6	—	10,679
	第89期 (2018年 7月17日)	6,597	25	2.6	94.4	—	10,588
	第90期 (2018年 8月17日)	6,324	25	△3.8	93.7	—	9,777
第16作成期	第91期 (2018年 9月18日)	6,256	25	△0.7	93.1	—	9,233
	第92期 (2018年10月17日)	6,372	25	2.3	92.6	—	9,095
	第93期 (2018年11月19日)	6,363	25	0.3	92.3	—	8,760
	第94期 (2018年12月17日)	6,346	25	0.1	93.0	—	8,420
	第95期 (2019年 1月17日)	6,294	25	△0.4	93.9	—	8,139
	第96期 (2019年 2月18日)	6,394	25	2.0	93.9	—	8,153
第17作成期	第97期 (2019年 3月18日)	6,453	25	1.3	93.4	—	8,121
	第98期 (2019年 4月17日)	6,488	25	0.9	93.4	—	8,014
	第99期 (2019年 5月17日)	6,224	25	△3.7	92.2	—	7,515
	第100期 (2019年 6月17日)	6,257	25	0.9	93.5	—	7,395
	第101期 (2019年 7月17日)	6,403	25	2.7	94.2	—	7,402
	第102期 (2019年 8月19日)	6,173	25	△3.2	94.0	—	7,078
第18作成期	第103期 (2019年 9月17日)	6,222	25	1.2	93.2	—	7,095
	第104期 (2019年10月17日)	6,245	25	0.8	93.0	—	7,085
	第105期 (2019年11月18日)	6,249	25	0.5	92.9	—	6,992
	第106期 (2019年12月17日)	6,322	25	1.6	93.2	—	6,934
	第107期 (2020年 1月17日)	6,415	25	1.9	93.8	—	6,936
	第108期 (2020年 2月17日)	6,355	25	△0.5	93.3	—	6,780

(注) 基準価額の期中騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

◎当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債券組入率 比	債券先物率 比
		円	騰 落 率 %		
第103期	(期 首) 2019年 8月19日	6,173	—	94.0	—
	8月末	6,094	△1.3	92.2	—
	(期 末) 2019年 9月17日	6,247	1.2	93.2	—
第104期	(期 首) 2019年 9月17日	6,222	—	93.2	—
	9月末	6,192	△0.5	92.5	—
	(期 末) 2019年10月17日	6,270	0.8	93.0	—
第105期	(期 首) 2019年10月17日	6,245	—	93.0	—
	10月末	6,325	1.3	93.6	—
	(期 末) 2019年11月18日	6,274	0.5	92.9	—
第106期	(期 首) 2019年11月18日	6,249	—	92.9	—
	11月末	6,260	0.2	92.8	—
	(期 末) 2019年12月17日	6,347	1.6	93.2	—
第107期	(期 首) 2019年12月17日	6,322	—	93.2	—
	12月末	6,393	1.1	93.5	—
	(期 末) 2020年 1月17日	6,440	1.9	93.8	—
第108期	(期 首) 2020年 1月17日	6,415	—	93.8	—
	1月末	6,330	△1.3	93.3	—
	(期 末) 2020年 2月17日	6,380	△0.5	93.3	—

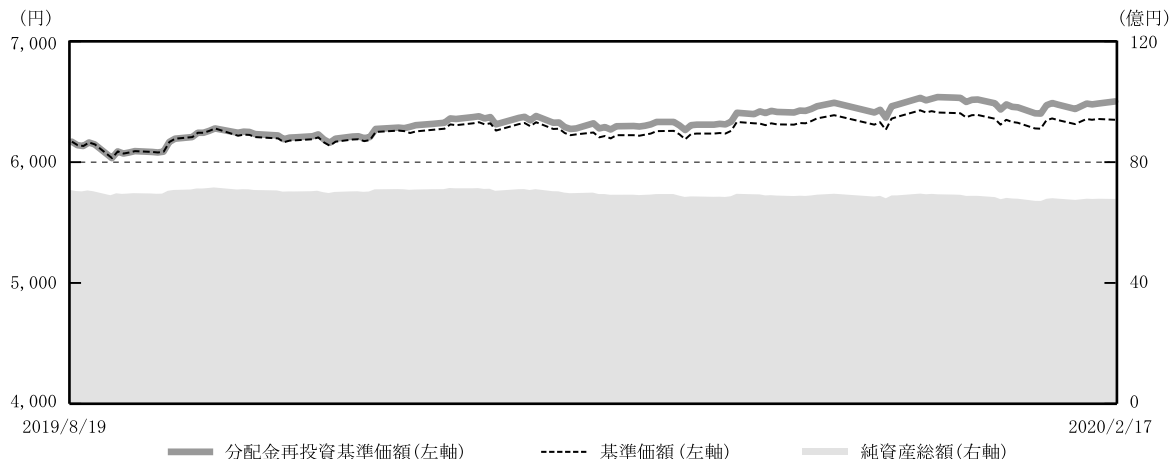
(注) 期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

◎当作成期の運用状況と今後の運用方針

1. 基準価額等の推移について（第103期～第108期：2019年8月20日～2020年2月17日）



【基準価額・騰落率】

第103期首：6,173円

第108期末：6,355円（既払分配金（税込み）：150円）

騰落率：+5.4%（分配金再投資ベース）

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- * 分配金を再投資するか否かについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、それぞれのお客様の損益の状況を示すものではありません。
- ・ 分配金再投資基準価額は、作成期首（2019年8月19日）の値を基準価額と同一になるように指数化しております。

2. 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

メキシコ債券、インドネシア債券、マレーシア債券などへの投資効果（利子収入と債券価格の上昇）が基準価額にプラスに寄与しました。

<下落要因>

ブラジルレアルが対円で下落したことなどが基準価額へマイナスの影響を及ぼしました。

3. 投資環境について

【債券市況】

投資対象債券市場は、先進国市場はやや軟調となり債券利回りは上昇した一方、新興国市場は全般的に堅調に推移し債券利回りは低下しました。

作成期初から2019年12月までは、米中通商交渉が進展し両国が合意に達するとの期待が高まったこと、これに伴い中国や世界経済の減速懸念が後退したこと、米国を始め多くの主要中央銀行が利下げを実施したこと、利下げの効果により米国や世界経済が下支えされるとの期待感、英国のEU離脱問題で「合意なき離脱」が回避される可能性が高まったことなどを背景に、投資家心理が好転しました。市場では株式などのリスク資産を買う動きが広がる一方、安全資産としての先進国国債の買いが手控えられ、債券価格は軟調（利回りは上昇）となりました。またこの期間の新興国債券市場では、リスク選好姿勢を強めた投資家が利回りの高い新興国債券に注目し、このような投資家からの買い需要や、インド、インドネシア、ブラジルなどの新興国が利下げを実施したことなどが好材料となり、投資対象の新興国国債価格は総じて上昇（利回りは低下）しました。

2020年に入ると、米国とイランの関係悪化により中東地域での緊張が高まったこと、中国での新型コロナウイルスの感染者数の増加が報じられ、これが中国経済や世界経済に及ぼす影響について警戒感が広がったことなどから、投資家は慎重な姿勢に転じ、先進国国債を買い戻すなどしたため市場は底堅い推移（利回りは低下）となりました。また新興国債券市場も、引き続き高い利回りを求める投資家の関心を集め、債券価格の上昇基調（利回りは低下）が続きました。

【為替相場】

為替市場では、投資対象市場の先進国通貨の多くは対米ドルで小動きとなりました。一方、インドルピーやメキシコペソなど新興国通貨の多くは、投資家のリスク選好姿勢を反映して対米ドルで上昇しました。また、このような中、米国景気が堅調を維持する一方で日本経済が減速するなど、両国間の景況の格差が際立つなかで、円安・米ドル高基調となりました。これらの結果、ブラジルレアル以外の投資対象市場の通貨は円に対して上昇しました。

4. ポートフォリオについて

<HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・オープン（毎月決算型）>

「HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・マザーファンド」への投資を通じて、投資対象としている先進国と新興国の債券に投資しました。

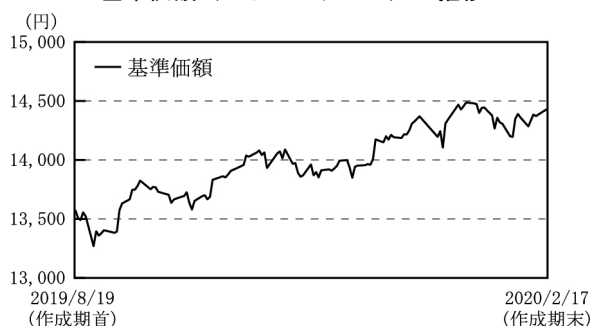
<HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・マザーファンド>

国別組入比率は、経済・市場環境を考慮し、先進国債券については、作成期を通してオーストラリア債券を15%程度、カナダ債券を17～18%程度、ニュージーランド債券を5～6%程度、ノルウェー債券を8%程度の組入比率で維持しました。

作成期を通して、新興国債券についてはブラジル債券、メキシコ債券、インドネシア債券、マレーシア債券の組入比率をそれぞれ10～12%程度、南アフリカ債券を6%程度、インド債券*を4～5%程度に維持しました。また、ポートフォリオ全体でデュレーションを6年程度、平均格付けをA程度としました。

*ルクセンブルク籍のインド債券ファンドを保有することで、インド債券への実質的な投資を行いました。

基準価額（マザーファンド）の推移



5. ベンチマークとの差異について

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

6. 分配金について

第103期から第108期における分配金は、基準価額の水準・市況動向等を勘案し、いずれも25円（1万口当たり・税引前）とさせていただきます。

なお、留保益の運用につきましては特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

7. 今後の運用方針

投資対象国のうち、オーストラリア、カナダ、ニュージーランド、ノルウェーなどの国債利回りは、一般に米国国債との連動性が高いとされています。米国の中央銀行に相当する連邦準備制度理事会（FRB）は、昨年後半に3回にわたる利下げを行い、その後も必要に応じて追加利下げを行う意向を示しています。米国を中心にこれらの国では、国債利回りは総じて安定的に推移すると思われま

す。新興国市場について、一部の国では食料品価格の上昇から消費者物価指数（CPI）が上昇するケースが見られますが、変動の激しいエネルギー価格や食品価格を除いたコア（基調的）インフレ率が低下している、もしくは低位にある国（インドネシア、マレーシア、メキシコなど）では、中央銀行による利下げ余地もあり、中期的に債券利回りの低下（価格の上昇）が期待されます。また、経済環境が良好な新興国では通貨の上昇も期待できます。

なお、リスク要因として、米中通商問題、また足元では新型コロナウイルスの感染症拡大の懸念が挙げられます。これらの問題により投資家が警戒的な姿勢をとれば、新興国通貨の下押し圧力となる可能性があります。また、米国経済のインフレ圧力が高まれば先進国債券の利回り上昇（価格下落）要因になる可能性があります。

<HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・オープン（毎月決算型）>

「HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・マザーファンド」への投資を通じて、投資対象としている先進国と新興国の債券に投資することにより、安定したインカムゲインの確保とともに、信託財産の中長期的な成長を目指します。

<HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・マザーファンド>

引き続き経済ファンダメンタルズが良好な国への投資を行います（投資環境の変化に応じて、今後、投資対象市場を変更することがあります）。投資戦略としては、米国の金融政策などの外部環境に引き続き留意しつつ、投資対象国の債券および通貨のバリュエーションを勘案し、選別的な投資を継続していきます。

◎1万口当たりの費用明細

項目	作成期間(第103期～第108期)		項目の概要
	2019/8/20～2020/2/17		
	金額	比率	
(a)信託報酬	円 54	% 0.870	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(27)	(0.438)	ファンドの運用等の対価 (運用委託先への報酬が含まれます。)
(販 売 会 社)	(26)	(0.410)	分配金・換金代金の支払い、運用報告書等の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b)その他費用	3	0.049	(b)その他費用＝作成期中のその他費用／作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.021)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(そ の 他)	(2)	(0.025)	振替制度にかかる費用、印刷業者に支払う法定書類にかかる費用等
合計	57	0.919	
作成期中の平均基準価額は、6,265円です。			

(注) 作成期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加設定・一部解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、「(b)その他費用」は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

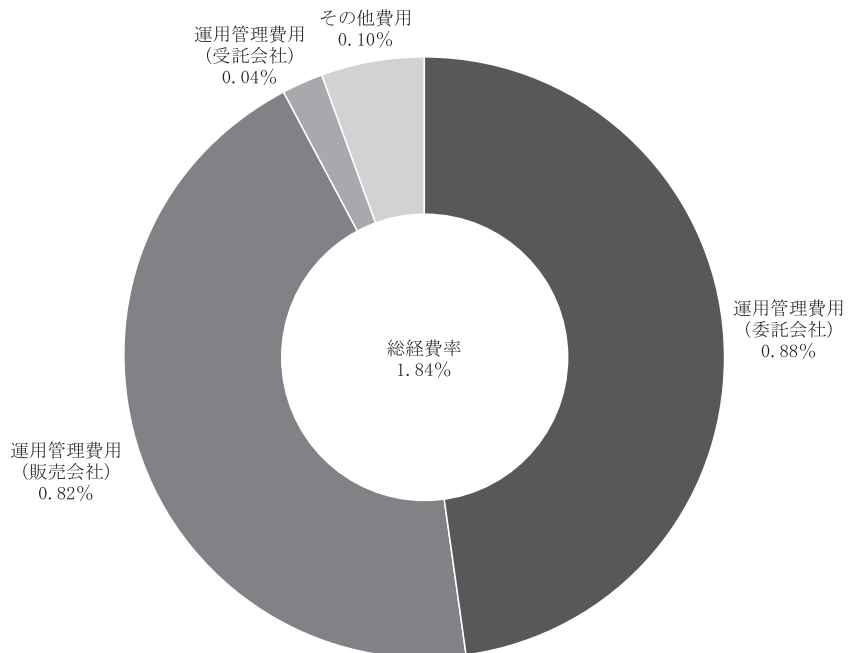
(注) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 「投信会社」は、以下、「委託者」、「委託会社」という場合があります。

(注) 「(b)その他費用」の「(その他)」には、債券売却時に支払った外国税(1万口当たり1円)が含まれます。

(参考情報) 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.84%です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、購入時手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

◎親投資信託受益証券の設定、解約状況（2019年8月20日から2020年2月17日まで）

決 算 期	第 103 期 ～ 第 108 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・マザーファンド	千口 3,033	千円 4,238	千口 523,338	千円 733,062

(注) 単位未満は切捨て。

◎利害関係人との取引状況（2019年8月20日から2020年2月17日まで）

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人をいいます。

◎組入資産の明細

親投資信託残高

2020年2月17日現在

種 類	第17作成期末		第 18 作 成 期 末	
	口 数	金 額	口 数	評 価 額
HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・マザーファンド	千口 5,246,405	千円 4,726,099	千口 4,726,099	千円 6,818,816

(注) 単位未満は切捨て。

◎投資信託財産の構成

2020年2月17日現在

項 目	第 18 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・マザーファンド	千円 6,818,816	% 100.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	626	0.0
投 資 信 託 財 産 総 額	6,819,442	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（7,104,433千円）の投資信託財産総額（7,152,849千円）に対する比率は99.3%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=109.80円、1カナダドル=82.86円、1メキシコペソ=5.92円、1ブラジルレアル=25.57円、1ノルウェークロネ=11.87円、1オーストラリアドル=73.73円、1ニュージーランドドル=70.61円、1マレーシアリング=26.53円、100インドネシアルピア=0.81円、1南アフリカランド=7.38円です。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年9月17日) (2019年10月17日) (2019年11月18日) (2019年12月17日) (2020年1月17日) (2020年2月17日)

項 目	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末	第108期末
(A) 資 産	7,138,642,132円	7,132,873,434円	7,038,464,374円	6,974,896,330円	6,978,760,082円	6,819,442,719円
HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・マザーファンド(評価額)	7,134,187,148	7,124,346,035	7,031,939,829	6,972,234,462	6,974,814,779	6,818,816,622
未 収 入 金	4,454,984	8,527,399	6,524,545	2,661,868	3,945,303	626,097
(B) 負 債	42,833,719	47,498,387	46,203,723	40,812,028	42,664,016	38,462,300
未 払 収 益 分 配 金	28,510,856	28,366,038	27,975,071	27,420,115	27,032,697	26,677,439
未 払 解 約 金	4,454,984	8,527,399	6,524,545	2,661,868	3,945,303	626,097
未 払 信 託 報 酬	9,588,691	10,036,568	10,826,237	9,578,361	10,241,558	10,107,108
そ の 他 未 払 費 用	279,188	568,382	877,870	1,151,684	1,444,458	1,051,656
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	7,095,808,413	7,085,375,047	6,992,260,651	6,934,084,302	6,936,096,066	6,780,980,419
元 本	11,404,342,544	11,346,415,566	11,190,028,778	10,968,046,146	10,813,079,077	10,670,975,923
次 期 繰 越 損 益 金	△ 4,308,534,131	△ 4,261,040,519	△ 4,197,768,127	△ 4,033,961,844	△ 3,876,983,011	△ 3,889,995,504
(D) 受 益 権 総 口 数	11,404,342,544口	11,346,415,566口	11,190,028,778口	10,968,046,146口	10,813,079,077口	10,670,975,923口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,222円	6,245円	6,249円	6,322円	6,415円	6,355円

<注記事項(当運用報告書作成時点では、監査未了です。)>

(注) 当ファンドの第103期首元本額は11,467,261,040円、第103～108期中追加設定元本額は6,763,472円、第103～108期中一部解約元本額は803,048,589円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

◎損益の状況

	自2019年8月20日 至2019年9月17日	自2019年 9月18日 至2019年10月17日	自2019年10月18日 至2019年11月18日	自2019年11月19日 至2019年12月17日	自2019年12月18日 至2020年 1月17日	自2020年1月18日 至2020年2月17日
項 目	第 103 期	第 104 期	第 105 期	第 106 期	第 107 期	第 108 期
(A) 有価証券売買損益	93,929,160円	64,197,315円	43,394,074円	117,408,762円	137,271,143円	△ 27,834,096円
売 買 益	95,744,705	66,948,829	45,134,068	121,461,361	138,985,335	668,538
売 買 損	△ 1,815,545	△ 2,751,514	△ 1,739,994	△ 4,052,599	△ 1,714,192	△ 28,502,634
(B) 信託報酬等	△ 9,867,879	△ 10,325,762	△ 11,135,725	△ 9,852,175	△ 10,534,332	△ 9,714,306
(C) 当期損益金(A+B)	84,061,281	53,871,553	32,258,349	107,556,587	126,736,811	△ 37,548,402
(D) 前期繰越損益金	△2,896,754,288	△2,826,452,747	△2,761,873,393	△2,702,032,640	△2,584,240,462	△2,451,425,519
(E) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	△1,467,330,268 (514,175,272)	△1,460,093,287 (511,609,011)	△1,440,178,012 (504,602,416)	△1,412,065,676 (494,687,085)	△1,392,446,663 (487,770,703)	△1,374,344,144 (481,404,899)
(売買損益相当額)	(△1,981,505,540)	(△1,971,702,298)	(△1,944,780,428)	(△1,906,752,761)	(△1,880,217,366)	(△1,855,749,043)
(F) 計 (C+D+E)	△4,280,023,275	△4,232,674,481	△4,169,793,056	△4,006,541,729	△3,849,950,314	△3,863,318,065
(G) 収益分配金	△ 28,510,856	△ 28,366,038	△ 27,975,071	△ 27,420,115	△ 27,032,697	△ 26,677,439
次期繰越損益金(F+G)	△4,308,534,131	△4,261,040,519	△4,197,768,127	△4,033,961,844	△3,876,983,011	△3,889,995,504
追加信託差損益金 (配当等相当額)	△1,467,330,268 (514,176,244)	△1,460,093,287 (511,610,069)	△1,440,178,012 (504,603,580)	△1,412,065,676 (494,689,048)	△1,392,446,663 (487,772,526)	△1,374,344,144 (481,406,025)
(売買損益相当額)	(△1,981,506,512)	(△1,971,703,356)	(△1,944,781,592)	(△1,906,754,724)	(△1,880,219,189)	(△1,855,750,169)
分配準備積立金	586,393,312	580,410,779	568,514,274	556,569,749	548,854,324	535,348,187
繰越損益金	△3,427,597,175	△3,381,358,011	△3,326,104,389	△3,178,465,917	△3,033,390,672	△3,050,999,547

(注) (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第103期計算期間末における費用控除後の配当等収益(26,770,464円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(514,176,244円)および分配準備積立金(588,133,704円)より分配対象収益は1,129,080,412円(10,000口当たり990円)であり、うち28,510,856円(10,000口当たり25円)を分配金額としております。

(注) 第104期計算期間末における費用控除後の配当等収益(25,302,942円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(511,610,069円)および分配準備積立金(583,473,875円)より分配対象収益は1,120,386,886円(10,000口当たり987円)であり、うち28,366,038円(10,000口当たり25円)を分配金額としております。

(注) 第105期計算期間末における費用控除後の配当等収益(23,865,754円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(504,603,580円)および分配準備積立金(572,623,591円)より分配対象収益は1,101,092,925円(10,000口当たり983円)であり、うち27,975,071円(10,000口当たり25円)を分配金額としております。

(注) 第106期計算期間末における費用控除後の配当等収益(26,451,613円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(494,689,048円)および分配準備積立金(557,538,251円)より分配対象収益は1,078,678,912円(10,000口当たり983円)であり、うち27,420,115円(10,000口当たり25円)を分配金額としております。

(注) 第107期計算期間末における費用控除後の配当等収益(26,976,656円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(487,772,526円)および分配準備積立金(548,910,365円)より分配対象収益は1,063,659,547円(10,000口当たり983円)であり、うち27,032,697円(10,000口当たり25円)を分配金額としております。

(注) 第108期計算期間末における費用控除後の配当等収益(20,161,409円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(481,406,025円)および分配準備積立金(541,864,217円)より分配対象収益は1,043,431,651円(10,000口当たり977円)であり、うち26,677,439円(10,000口当たり25円)を分配金額としております。

(注) 親投資信託の投資信託財産の運用指図に係る権限を委託するために要する費用として、委託者報酬の中から支弁した額は、8,655,747円です。

◎分配金のお知らせ

	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
1万口当たり分配金（税込み）	25円	25円	25円	25円	25円	25円

- ◇分配金をお支払いする場合：原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始いたします。
- ◇分配金を再投資する場合：決算日現在の基準価額に基づいて、税金を差し引いた後、皆さまの口座に繰り入れて再投資いたします。
- ◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
 普通分配金 … 分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。
 元本払戻金 … 分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの部分は普通分配となります。元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

◎分配原資の内訳

（単位：1万口当たり・税引前）

	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
当期分配金	25円	25円	25円	25円	25円	25円
（対基準価額比率）	0.400%	0.399%	0.398%	0.394%	0.388%	0.392%
当期の収益	23円	22円	21円	24円	24円	18円
当期の収益以外	1円	2円	3円	0円	0円	6円
翌期繰越分配対象額	965円	962円	958円	958円	958円	952円

- ◇「（対基準価額比率）」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率です。この値はファンドの収益率を表すものではない点にご留意ください。
- ◇「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに住民税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

※税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

※税金の取扱いの詳細については、税務の専門家等にご確認されることをお勧めします。

◆親投資信託「HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・マザーファンド」の運用状況
第9期（2019年2月19日～2020年2月17日）

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	先進国通貨建債券および新興国通貨建債券に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要運用対象	今後の世界経済の成長のけん引役になることが期待される国（ニューリーダー）の債券を中心に投資します。
組入制限	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への投資は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資には制限を設けません。

◎最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期騰落率	債券組入比率	債券先物比率	純資産額
		中率			
第5期（2016年2月17日）	円 12,101	% △14.7	% 96.5	% —	百万円 44,247
第6期（2017年2月17日）	13,268	9.6	93.2	—	23,963
第7期（2018年2月19日）	13,611	2.6	93.8	—	13,186
第8期（2019年2月18日）	13,614	0.0	93.3	—	8,540
第9期（2020年2月17日）	14,428	6.0	92.8	—	7,150

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

◎当期中の基準価額等の推移

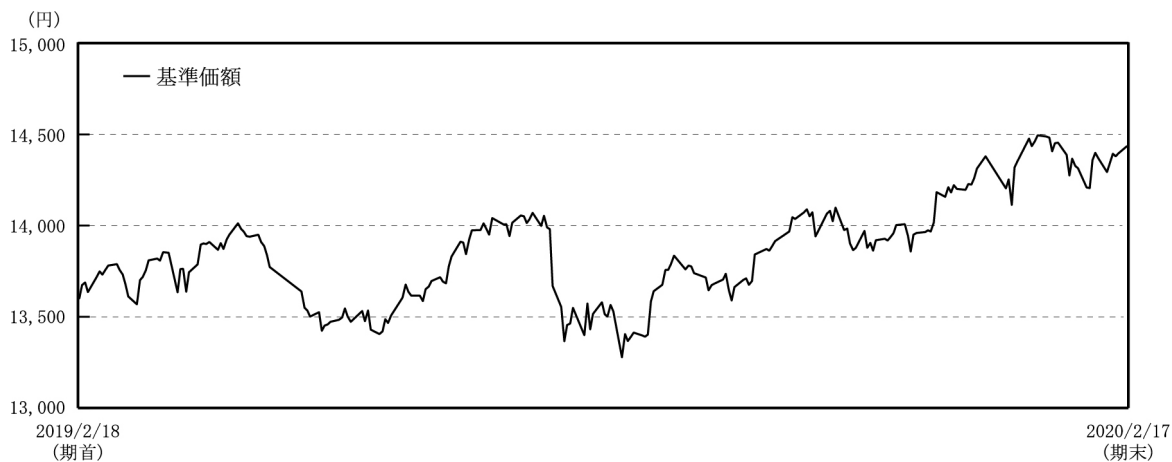
年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	円	騰 落 率		
(期 首) 2019年 2月18日	13,614	—	93.3	—
2月末	13,746	1.0	93.8	—
3月末	13,735	0.9	93.6	—
4月末	13,765	1.1	93.0	—
5月末	13,420	△1.4	92.7	—
6月末	13,822	1.5	93.9	—
7月末	13,982	2.7	94.2	—
8月末	13,404	△1.5	92.1	—
9月末	13,695	0.6	92.5	—
10月末	14,064	3.3	93.6	—
11月末	13,995	2.8	92.7	—
12月末	14,371	5.6	93.4	—
2020年 1月末	14,306	5.1	93.2	—
(期 末) 2020年 2月17日	14,428	6.0	92.8	—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

◎当期の運用状況と今後の運用方針

1. 基準価額等の推移について (第9期：2019年2月19日～2020年2月17日)



2. 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

メキシコ債券、オーストラリア債券、インドネシア債券などへの投資効果（利子収入と債券価格の上昇）が基準価額にプラスに寄与しました。

<下落要因>

ブラジルレアルやノルウェークローネが対円で下落したことなどが、基準価額へマイナスの影響を及ぼしました。

3. 投資環境について

【債券市況】

投資対象債券市場は、先進国市場、新興国市場ともに総じて堅調となり債券利回りは低下（価格は上昇）しました。

期初から2019年8月までは、先進国市場では米国、中国間の貿易問題から中国経済や世界経済が減速するとの見方が広がったこと、米国の中央銀行に相当する連邦準備制度理事会（FRB）をはじめ、欧州中央銀行（ECB）、オーストラリアやニュージーランドなどの主要中央銀行が利下げを実施したため、投資対象の先進国債券市場では、利回りは低下（価格は上昇）しました。またこの期間、新興国債券市場でも各国中央銀行の金融緩和動きが広がり、インド、マレーシア、南アフリカ、ブラジルなどで利下げが実施されたため、投資対象の新興国債券市場でも、利回りは低下（価格は上昇）しました。

9月から12月にかけて、米中通商交渉の合意が近いとの見方や中国や世界経済への懸念の後退、世界の主要中央銀行の金融緩和により世界経済が下支えされるとの期待などを背景に投資家心理が好転し、市場では株式などのリスク資産を買う動きが広がりました。このため安全資産としての先進国国債の買いが手控えられ、投資対象の先進国国債価格は軟調（利回りは上昇）となりました。またこの期間の新興国債券市場では、リスク選好姿勢を強めた投資家が利回りの高い新興国債券に注目し、このような投資家からの買い需要や、インド、インドネシア、ブラジルなどの新興国が利下げを実施したことなどが好材料となり、投資対象の新興国国債価格は総じて上昇（利回りは低下）しました。

2020年に入ると、イラン問題で中東地域の緊張が高まったこと、中国での新型コロナウイルスの感染者の急増について警戒感が広がったことなどから、投資家は慎重な姿勢に転じ先進国国債を買い戻すなどしたため、市場は底堅い推移（利回りは低下）となりました。また新興国債券市場も、引き続き高い利回りを求める投資家の関心を集め、債券価格の上昇基調（利回りは低下）が続きました。

【為替相場】

為替市場では、米中貿易摩擦の動向、世界経済の先行き、米国など世界の中央銀行の金融政策、新型コロナウイルスの拡大などに焦点が当たりました。

期の前半は、米中通商交渉で両国間の緊張が高まり、また世界景気の先行きに対する不透明感が広がる中で、安全通貨とされる円が上昇しました。このため投資対象市場の全ての通貨は対円で下落しました。後半にはいると、日本の景気の減速懸念などを背景に円が弱含む展開となり、多くの投資対象通貨は対円で上昇しました。期を通してみると、投資対象市場の通貨の多くは対円で弱含みました。

4. ポートフォリオについて

国別組入比率は、経済・市場環境を考慮し、先進国債券については、期を通してオーストラリア債券を14～15%程度、カナダ債券を17～18%程度、ニュージーランド債券を5～6%程度、ノルウェー債券を8～10%程度の組入比率で維持しました。

期を通して、新興国債券についてはブラジル債券、メキシコ債券、インドネシア債券、マレーシア債券の組入比率をそれぞれ10～12%程度、南アフリカ債券を6%程度、インド債券*を4～5%程度に維持しました。また、ポートフォリオ全体でデュレーションを5～6年程度、平均格付けをA程度としました。

*ルクセンブルク籍のインド債券ファンドを保有することで、インド債券への実質的な投資を行いました。

5. 今後の運用方針

投資対象国のうち、オーストラリア、カナダ、ニュージーランド、ノルウェーなどの国債利回りは、一般に米国国債との連動性が高いとされています。米国の中央銀行に相当する連邦準備制度理事会（FRB）は、昨年後半に3回にわたる利下げを行い、その後も必要に応じて追加利下げを行う意向を示しています。米国を中心にこれらの国では、国債利回りは総じて安定的に推移すると思われま

す。新興国市場について、一部の国では食料品価格の上昇から消費者物価指数（CPI）が上昇するケースが見られますが、変動の激しいエネルギー価格や食品価格を除いたコア（基調的）インフレ率が低下している、もしくは低位にある国（インドネシア、マレーシア、メキシコなど）では、中央銀行による利下げ余地もあり、中期的に債券利回りの低下（価格の上昇）が期待されます。また、経済環境が良好な新興国では通貨の上昇も期待できます。

なお、リスク要因として、米中通商問題、また足元では新型コロナウイルスの感染症拡大の懸念が挙げられます。これらの問題により投資家が警戒的な姿勢をとれば、新興国通貨の下押し圧力となる可能性があります。また、米国経済のインフレ圧力が高まれば先進国債券の利回り上昇（価格下落）要因になる可能性があります。

引き続き経済ファンダメンタルズが良好な国への投資を行います（投資環境の変化に応じて、今後、投資対象市場を変更することがあります）。投資戦略としては、米国の金融政策などの外部環境に引き続き留意しつつ、投資対象国の債券および通貨のバリュエーションを勘案し、選別的な投資を継続していきます。

◎1万口当たりの費用明細（2019年2月19日から2020年2月17日まで）

項目	金額	比率
(a) その他費用	7円	0.053%
（保管費用）	(5)	(0.038)
（その他）	(2)	(0.015)
合計	7	0.053

- ・期中のマザーファンドの平均基準価額は13,858円です。
- ・各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入しております。なお、費用項目の概要については、6ページをご参照ください。
- ・「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均価額で除して100を乗じたものです。
- ・「（その他）」には、債券売却時に支払った外国税（1万口当たり2円）が含まれます。

◎当期中の売買及び取引の状況（2019年2月19日から2020年2月17日まで）

(1) 公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	カナダ	国債証券	千カナダドル 8,837	千カナダドル 11,347 (1,100)
	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ -	千メキシコペソ 27,490
	ブラジル	国債証券	千ブラジルリアル 3,474	千ブラジルリアル 3,258
	ノルウェー	国債証券	千ノルウェークローネ 6,345	千ノルウェークローネ 22,716
	オーストラリア	国債証券	千オーストラリアドル 5,559	千オーストラリアドル 6,710
	ニュージーランド	国債証券	千ニュージーランドドル 4,747	千ニュージーランドドル 5,242
	マレーシア	国債証券	千マレーシアリング 7,238	千マレーシアリング 15,134
	インドネシア	国債証券	千インドネシアルピア 5,308,500	千インドネシアルピア 42,972,650 (79,000)
	南アフリカ	国債証券	千南アフリカランド -	千南アフリカランド 6,010

(注) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(2) 投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外国	米 国	HGIF INDIA FIXED INCOME ZD	口	千米ドル	口	千米ドル
			55,000	566	55,000	595

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。

◎利害関係人との取引状況（2019年2月19日から2020年2月17日まで）

当期中の利害関係人との取引状況

区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 1,761	百万円 —	% —	百万円 3,591	百万円 50	% 1.4

(注) 単位未満は切捨て。

*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド（東京）です。

◎組入資産の明細（2020年2月17日現在）

外国（外貨建）公社債

(A) 債券種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
カナダ	千カナダドル 11,283	千カナダドル 14,176	千円 1,174,630	% 16.4	% —	% 10.1	% 3.2	% 3.0
メキシコ	千メキシコペソ 122,108	千メキシコペソ 135,635	802,959	11.2	—	9.0	0.9	1.3
ブラジル	千ブラジルリアル 28,950	千ブラジルリアル 31,809	813,373	11.4	11.4	1.0	4.4	5.9
ノルウェー	千ノルウェークローネ 44,400	千ノルウェークローネ 45,615	541,460	7.6	—	1.7	2.5	3.4
オーストラリア	千オーストラリアドル 11,345	千オーストラリアドル 14,442	1,064,817	14.9	—	13.8	0.8	0.2
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 4,650	千ニュージーランドドル 5,415	382,417	5.3	—	4.8	0.6	—
マレーシア	千マレーシアリング 25,500	千マレーシアリング 27,344	725,453	10.1	—	9.6	0.6	—
インドネシア	千インドネシアルピア 80,174,000	千インドネシアルピア 90,745,339	735,037	10.3	—	9.9	0.4	—
南アフリカ	千南アフリカランド 59,000	千南アフリカランド 53,783	396,918	5.6	5.6	4.4	—	1.1
合 計	—	—	6,637,069	92.8	17.0	64.3	13.6	15.0

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

(注) BB格以下組入比率は、S&Pグローバル・レーティングの格付に基づいております。なお、BB格とはBB+、BB、BB-を指します。

(B) 個別銘柄開示

銘柄名	当期末					
	種類	利率	額面金額	評価額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(カナダ)		%	千カナダドル	千カナダドル	千円	
CAN 1.25% 03/01/2025	国債証券	1.25	1,600	1,590	131,807	2025/3/1
CAN 10.5% 03/15/2021		10.5	81	88	7,341	2021/3/15
CAN 2.75% 12/01/2048		2.75	1,000	1,294	107,220	2048/12/1
CAN 5% 06/01/2037		5.0	1,204	1,850	153,291	2037/6/1
CAN 5.75% 06/01/2029		5.75	802	1,103	91,468	2029/6/1
CAN 5.75% 06/01/2033		5.75	479	729	60,437	2033/6/1
CAN 8% 06/01/2023		8.0	2,317	2,800	232,046	2023/6/1
CAN 8% 06/01/2027		8.0	1,500	2,182	180,822	2027/6/1
CAN 9.75% 06/01/2021		9.75	2,300	2,536	210,194	2021/6/1
小計	—	—	—	—	1,174,630	—
(メキシコ)			千メキシコペソ	千メキシコペソ		
MBONO 10% 12/05/2024	国債証券	10.0	9,808	11,232	66,495	2024/12/5
MBONO 7.5% 06/03/2027		7.5	20,000	21,156	125,244	2027/6/3
MBONO 7.75% 11/13/2042		7.75	20,800	23,053	136,474	2042/11/13
MBONO 8% 06/11/2020		8.0	16,000	16,067	95,121	2020/6/11
MBONO 8.5% 05/31/2029		8.5	32,500	36,895	218,424	2029/5/31
MBONO 8.5% 11/18/2038		8.5	23,000	27,229	161,199	2038/11/18
小計	—	—	—	—	802,959	—
(ブラジル)			千ブラジルレアル	千ブラジルレアル		
NTN-F 10% 01/01/2021	国債証券	10.0	15,800	16,555	423,332	2021/1/1
NTN-F 10% 01/01/2023		10.0	4,900	5,495	140,531	2023/1/1
NTN-F 10% 01/01/2025		10.0	5,900	6,886	176,078	2025/1/1
NTN-F 10% 01/01/2027		10.0	850	1,022	26,141	2027/1/1
NTN-F 10% 01/01/2029		10.0	1,500	1,849	47,289	2029/1/1
小計	—	—	—	—	813,373	—
(ノルウェー)			千ノルウェークローネ	千ノルウェークローネ		
NGB 1.75% 02/17/2027	国債証券	1.75	3,700	3,801	45,128	2027/2/17
NGB 1.75% 09/06/2029		1.75	6,000	6,198	73,577	2029/9/6
NGB 2% 05/24/2023		2.0	15,000	15,328	181,954	2023/5/24
NGB 3.75% 05/25/2021		3.75	19,700	20,286	240,800	2021/5/25
小計	—	—	—	—	541,460	—
(オーストラリア)			千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
ACGB 2% 12/21/2021	国債証券	2.0	200	204	15,079	2021/12/21
ACGB 2.75% 06/21/2035		2.75	200	240	17,768	2035/6/21
ACGB 3.25% 04/21/2029		3.25	3,000	3,580	264,016	2029/4/21
ACGB 4.5% 04/21/2033		4.5	3,089	4,352	320,911	2033/4/21
ACGB 4.75% 04/21/2027		4.75	4,147	5,248	386,952	2027/4/21
ACGB 5.5% 04/21/2023		5.5	709	814	60,087	2023/4/21
小計	—	—	—	—	1,064,817	—
(ニュージーランド)			千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル		
NZGB 2.75% 04/15/2037	国債証券	2.75	1,300	1,488	105,125	2037/4/15
NZGB 3.0% 04/20/2029		3.0	1,500	1,710	120,791	2029/4/20
NZGB 4.5% 04/15/2027		4.5	1,350	1,647	116,333	2027/4/15
NZGB 5.5% 04/15/2023		5.5	500	568	40,167	2023/4/15
小計	—	—	—	—	382,417	—

銘柄名	当 期 末					
	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(マレーシア)	国債証券	%	千マレーシアリング	千マレーシアリング	千円	
MGS 3.795% 09/30/2022		3.795	1,500	1,542	40,933	2022/9/30
MGS 3.885% 08/15/2029		3.885	7,000	7,585	201,240	2029/8/15
MGS 3.899% 11/16/2027		3.899	17,000	18,216	483,279	2027/11/16
小 計	—	—	—	—	725,453	—
(インドネシア)	国債証券		千インドネシアルピア	千インドネシアルピア		
INDOGB 10.5% 07/15/2038		10.5	7,200,000	9,410,294	76,223	2038/7/15
INDOGB 12.9% 06/15/2022		12.9	3,270,000	3,788,654	30,688	2022/6/15
INDOGB 6.125% 05/15/2028		6.125	12,500,000	12,206,000	98,868	2028/5/15
INDOGB 8.375% 03/15/2034		8.375	23,631,000	26,302,248	213,048	2034/3/15
INDOGB 9% 03/15/2029		9.0	26,287,000	30,233,204	244,888	2029/3/15
INDOGB 9.75% 05/15/2037	9.75	7,286,000	8,804,937	71,319	2037/5/15	
小 計	—	—	—	—	735,037	—
(南アフリカ)	国債証券		千南アフリカランド	千南アフリカランド		
SAGB 10.5% 12/21/2026		10.5	3,000	3,396	25,065	2026/12/21
SAGB 6.75% 03/31/2021		6.75	11,000	11,026	81,378	2021/3/31
SAGB 8.75% 02/28/2048		8.75	45,000	39,359	290,474	2048/2/28
小 計	—	—	—	—	396,918	—
合 計	—	—	—	—	6,637,069	—

(注) 邦貨換算金額は、期末現在の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

外国投資信託証券

ファンド名	期首(前期末)	当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(米国)			千米ドル	千円	%
HGIF INDIA FIXED INCOME ZD	299,000	299,000	3,207	352,169	4.9
合計	証券数、金額	299,000	299,000	3,207	352,169
	銘柄数 < 比率 >	1	1	—	< 4.9% >

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) —印は組入れなし。

◎投資信託財産の構成

2020年2月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	6,637,069	92.8
投 資 証 券	352,169	4.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	163,611	2.3
投 資 信 託 財 産 総 額	7,152,849	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 期末における外貨建純資産(7,104,433千円)の投資信託財産総額(7,152,849千円)に対する比率は99.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=109.80円、1カナダドル=82.86円、1メキシコペソ=5.92円、1ブラジルレアル=25.57円、1ノルウェークローネ=11.87円、1オーストラリアドル=73.73円、1ニュージーランドドル=70.61円、1マレーシアリング=26.53円、100インドネシアルピア=0.81円、1南アフリカランド=7.38円です。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2020年2月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	7,162,938,979円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	64,019,384
公 社 債(評価額)	6,637,069,364
投 資 証 券(評価額)	352,169,555
未 収 入 金	10,089,467
未 収 利 息	94,780,520
前 払 費 用	4,810,689
(B) 負 債	12,440,672
未 払 金	10,099,760
未 払 解 約 金	2,340,788
未 払 利 息	124
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	7,150,498,307
元 本	4,956,029,099
次 期 繰 越 損 益 金	2,194,469,208
(D) 受 益 権 総 口 数	4,956,029,099口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,428円

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

≪注記事項≫

※期首元本額	6,273,195,066円
期中追加設定元本額	8,420,365円
期中一部解約元本額	1,325,586,332円

※当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末保有元本額	
HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・オープン(毎月決算型)	4,726,099,683円
HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・オープン(資産成長型)	229,929,416円

◎損益の状況

自2019年2月19日
至2020年2月17日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	428,425,721円
受 取 配 当 金	18,815,251
受 取 利 息	409,640,514
そ の 他 収 益 金	1
支 払 利 息	△ 30,045
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	9,781,578
売 買 益	430,178,735
売 買 損	△ 420,397,157
(C) 信 託 報 酬 等	△ 4,084,346
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	434,122,953
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	2,266,992,949
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	3,210,713
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 509,857,407
(H) 計(D+E+F+G)	2,194,469,208
次 期 繰 越 損 益 金(H)	2,194,469,208

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C)信託報酬等の主なものは、保管費用等です。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

◆お知らせ◆

<約款変更のお知らせ>

・2019年11月15日付：

委託会社が登記する公告ホームページのURL変更に伴い、信託約款に所要の変更を行いました。

<その他のお知らせ>

ありません。